用語	
ANC	産前健診
CHW	コミュニティヘルスワーカー
CoC	母子継続ケア
DTP3	百日咳・ジフテリア・破傷風三種混合ワクチン
EBF	完全母乳育児
EMBRACE	Ensure Mothers and Babies Regular Access to Care
HBR	家庭用保健記録

用語	
MCH	母子保健
МСННВ	母子手帳
MCNH	母子·新生児保健
M&S	モニタリングとスーパービジョン
PNC	産後健診(母子どちらも)
SBA	専門技能立会いのもとの出産
TT	破傷風トキソイドワクチン

No.	タイトル発行	行時期	国	ポイント	要旨
1	What is Maternal and Child Health 20 Handbook? 1月		日本/世界	【概説】母子手帳の定義、目的、基本的な構成、導入の主 なステップなどを解説	母子手帳は、母子の健康状態や子どもの成長・発達、保健サービスの利用状況を記録し、各家庭で保持されるもの。妊娠中や乳幼児の健康リスクや栄養、ケアなどに関する情報も記載されている。一貫した記録の管理と提示が可能であり、母子の継続ケアのツールとして期待されている。
2	INDONESIA: Roles of MCH Handbook in service uptake based on Indonesia National Health Survey	016年	インドネシア	【効果】母子手帳使用者は、母子に必要なケアをより確 実に受けている	インドネシアでは、全国世帯調査で母子手帳使用状況を把握。母子手帳を使用する子どもは増加(2007年2歳未満の38.4%、2010年55.2%)したが、地域差がある(23.1%—83.4%)。母子手帳を使用していた子どもでは、使用していない子どもに比べ、出生時に保健医療従事者の介助を受け、生後48時間以内に体重計測されたなど、産前産後の継続的なケアを受けた割合が高い。加えて、母親は妊娠中に予防接種を受けており乳児期の予防接種も完了している。これらから、母子手帳を使用することは、母子が必要なケアをより確実に受けることにつながることが示唆された。
3	MONGOLA: MCH Handbook's contribution to increasing 20 communication between health workers and mothers		モンゴル	【効果】母子手帳介入群は、母子に必要なケアを利用し、 妊産婦とその家族が母子の健康によい行動をとる	モンゴルの農村地域ボルガン県でクラスターランダム化比較研究を実施。介入群には、ANCで母子手帳を配布。介入群は非介入群と比べ、ANC6回以上の割合が高く(81.7% vs 71.6%)、受診回数が多く(平均6.9回 vs 6.4回)、妊娠中の合併症の報告も多かった(12.3% vs 5.7%)。また、産後1時間以内に初乳を与え(94.1% vs 87.5%)、家族の喫煙は少なかった(50.1% vs 60.9%)。介入により、妊産婦とその家族の行動に違いがみられた。母子手帳には、妊産婦と家族、保健医療従事者とのコミュニケーションを改善する役割が期待される。

1

4	PALESTINE: MCH Handbook facilitates the communication between women, husbands and health workers		【効果】母子手帳を持つ母親は妊娠中のリスクや育児に 関する知識を得て、夫や保健医療従事者と密なにコミュ ニケーションをとる	知識と行動の改善ツールとして母子手帳が導入されたパレスチナにおいて、母子手帳が女性の知識・積極性・実践に与える影響を調査。母子手帳の保持者、とりわけ教育レベルの低い女性において、母子保健に関する知識(完全母乳育児の重要性、妊娠中の危険な兆候)が高かった。「初産」で「母子手帳を保持」している母親の場合、それ以外の母親に比べ、母子保健センターでより長い時間を過ごし、夫や保健医療従事者と頻繁にコミュニケーションしていると答えた。これらから、母子手帳が母親の知識の向上や周囲の関係者とのコミュニケーションに役立っていることが示唆された。
5	KENYA: What mothers have MCH Booklet?	2016年 5月 ケニア	【運用】母子手帳の保有に関わる要因を分析、若い母親 や貧しい世帯の母親も保有していた。コミュニティヘル スワーカーのパフォーマンスの高さも重要	ケニアのニアンザ州の 4 県で行われた調査によると、生後 12 から 23 ヶ月の子どもの 92%が母子手帳を保有していた。母子手帳の保有との関連が高い要因として、子どもの性別(男児)、母親との関係(実母)、母親の年齢(30 歳未満)、母親の保健知識レベル(高い)、出産間隔(2 年以上)、世帯経済(貧困)、及び担当しているコミュニティヘルスワーカーのパフォーマンスレベル(高い)、が示された。これらから、母子手帳が、脆弱層である若い母親や貧困世帯の子どもの母親に届いており、彼らと保健医療従事者とのインターフェースの役割を期待できることが示唆された。
6	PHILIPPINES: Roles of MCH Handbook to advance UHC in rural areas	2016年 6月 フィリピン	【運用】母子手帳は、出産のために地元を離れる必要がある山岳地の母子の継続ケアや健康保険の加入促進に 貢献	フィリピンのコーディレラ地域は山岳地帯にあり、出産のために地元を離れて町の病院に行かなければならないこともある。母子が保持する母子手帳は、母子へのケアの継続性を担保する強力なツールとして活用されている。さらに、母子手帳の「出産と緊急時の計画」に保険加入情報の記載欄を設け、産前健診の際に助産師が保険加入を勧奨したところ、妊娠中に健康保険に加入した人は、2013年の50%から2014年の70%に増加した。また貧困家庭対象の政府の補助金への加入手続きと結びつけるなど、医療的ケアが必要な場合の経済的不安の軽減にも母子手帳が活用されている。
7	GHANA: Roles of CoC Card as an icon for continuum of care	2019 年 7月	【効果】母子別々の記録を補完する継続ケアカードの活 用で継続ケア完了率が向上	母性手帳と子ども手帳が併用されていたガーナにおいて、「母子保健研究事業」によりこれらの手帳を補完する継続ケアカードを活用した介入が行われた。その結果、継続的ケア完了率(産前健診を 4 回以上受診、保健医療従事者による介助の出産、48 時間以内、7 日以内、6 週間目の3回の産後健診の受診、のすべてを満たした割合)が 2013 年の8%から、2015 年に 50%に上昇した。これらから、継続ケアカードのように母子一体型の記録を保持することが継続ケアの利用向上に貢献することが示唆された。

8	VIETNAM: A quick systematic review of existing MCH Home-based records	ベトナム	【運用】重複した項目を含む複数の様式が使用され、標準化の必要がある。母子手帳は母子の健康に関する記録に必要な項目を網羅した包括的なHBR	ベトナムの全 63 省中 28 省で使用されている母子保健に関する家庭 用保健記録の体系的レビュー。国が標準と定めているのは 3 種類(母子 手帳、予防接種ハンドブック、成長曲線カード)だが、地域限定の様式を 含め現在使用されているものは 23 種類、記録項目は 2,435 項目に 上った。その内、1,264 項目(51.9%)は複数の家庭用保健記録で重複 しており、21 項目が 15 種類の家庭用保健記録に重複していた。一方、 母子手帳は 1 冊で標準の家庭用保健記録に含まれる記録項目をすべて 網羅し、包括的な内容であった。
9	BRUNDI: Delivery certificate 2019年 imbedded in MCH Handbook 9月	ブルンジ	【運用】母子手帳が出生証明/出産時のリスクの有無/出生体重に関する記録を残すこと、産後健診の受診を促すことに貢献	ブルンジのギテガ県の全 23 保健施設で出生した子どもについて、出産時の記録の有無を、母子手帳導入前後で比較した。何らかの家庭用保健記録に出生証明が記載されている子どもは 4.6%から 66.2%に、出生時のリスクの有無の記載がある子どもは 0%から 29.7%に、出生時の正確な体重が記載されている子どもは 0%から 71.8%に、それぞれ増加した。また、看護師から産後健診について助言を受けた母親は 35.9%から 64.2%に増加した。これらのことから、母子手帳が出生時の記録をより確実に残すことに貢献することが示唆された。
10	KENYA: Is MCH Booklet useful as educational and behavior change tool?	ケニア	【効果】母子手帳使用者において、保健に関する知識レベルは高く、子どもの発熱や下痢への対処がみられた	ケニアのニアンザ州の 4 県で行われた調査によると、母子手帳を持つ 母親は、持たない母親に比べて、保健に関する知識が高く、子どもの発 熱や下痢に何らかの対処をしていた。しかし、予防接種の完了状況には 差が見られなかった。これらから、母子手帳は母親の健康に関する知識 の向上に貢献し、子どもの体調が悪い場合には、何らかの対処ができる ようになることが示唆された。健康教育セッションを通じて、さらなる活 用がすすめられる。
11	INDONESIA: Stakeholders' roles and responsibilities in nationwide MCH HB operation for CoC	インドネシア	【運用】母子手帳の普及には、地域の実情にあわせた内容や工夫、大臣令など政策と実施のためのツール、官民・専門家集団との協力が不可欠	インドネシアの事例から、母子手帳が継続ケアを促進するツールとして 全国に普及し、官民問わず活用されるための要因を分析。特に、国連機 関・関連する職能団体(医師会、産婦人医師会、小児医師会、助産師会、 看護師会、栄養士会など)・民間医療機関など複数のパートナーとの協 力が鍵となる。また、中央官庁が発行し、使用を義務付ける或いは推奨 する法制度を整備し、現場での活用マニュアルを開発することも必要。 さらに地域行政に展開する際には、地域の社会文化的文脈に合わせた 改変を行うことも重要。
12	VIETNAM: Behavior changes on 2016年 ANC through MCH Handbook 12月	ベトナム	【効果】母子手帳が産前健診の受診や母乳育児を促進	ベトナムで母子手帳事業を実施した 4 省において、事業の開始時と終了時の産前健診や完全母乳育児の状況を比較した。好産婦のうち、3 回の産前健診が必要との知識を持つ割合は 91.9%から 93.7%に、実際に3回以上受診した割合は 67.5%から 92.2%に、それぞれ増加した。完全母乳育児については、生後 6 カ月まで必要との知識を持つ割合は 66.1%から 86.7%に、実行した割合は 18.3%から 74.9%に、

13	BANGLADESH: Piloting MCH HB for increasing women's knowledge on MCH	2017 年 1月	バングラデシュ	【効果】母子手帳が母子継続ケア全般の知識向上に役立っ つ 【運用】母子手帳の印刷コストは別々のカード印刷より 安価	それぞれ増加した。これらから、母子手帳が産前健診の頻度や母乳育児に関する行動変容に貢献することが示唆された。 バングラデシュのガジプール郡で実施したパイロット事業では、母子手帳は双方向のコミュニケーションツールとして活用され妊産婦や母親は、産前健診や出産、新生児や子どものケア、成長モニタリングチャート、予防接種等、母子保健に関する適切な知識を習得した。また、4種類の家庭用記録カードの印刷費単価の合計は 0.5 米ドルであるのに対し、母子手帳の印刷費単価は 0.3 米ドルでコスト面からも母子手帳は効率的である。これらから、開発途上国において母子手帳は費用対効果の高い母子保健のツールとなる可能性が示唆された。
14	MONGOLIA: Prevention of cognitive development delay through MCH HB		モンゴル	【効果】母子手帳を用いた介入により、子どもの認知発 達遅れのリスクを軽減	モンゴルの農村部ボルガン県で実施されたクラスターランダマイズ介入研究において妊娠時に母子手帳を渡し、子どもの三歳時点での認知発達のリスクを比較した。その結果、介入群では子どもの認知発達遅れのリスクが著しく低かった(6.6%、対照群は13.4%)。認知発達遅れのリスクが低い子どもでは母子手帳に、乳児健康診断と成長曲線が頻繁に記録され、また、母親が産前健診の結果や、出産記録、子どもの成長マイルストーンを読んでいた。これらから、母子手帳の活用が子どもの認知発達に関する母親の知識を向上させ、子どもの健全な発達に貢献することが示唆された。
15	AFGHANISTAN: A rapid assessment for implementation of MCH HB	2017年 3月	アフガニスタン	【運用】各国の事例や共通点、課題を整理し、自国の試行に活用	アフガニスタン公衆衛生省は、母子手帳の導入の検討にあたり、19 カ 国の母子手帳やその導入プロセスをレビューした。各国の母子手帳の記 録部分の構成(産前~産後ケア、家族計画、妊婦破傷風予防接種、新生 児ケア、小児疾患統合管理、子どもの予防接種、発達記録管理)、記録様 式ページ数と教育要素ページ数の割合いなど参考にした。また、母子手 帳導入国から助言を得た。母親と保健医療従事者の知識の向上や理解 を促すため、情報に絞り絵を補助に使うこと、普及に際し、行政機関や 地域社会などへのアドボカシーが不可欠などを学び、自国の試行版の 作成や試行事業の計画策定に活用した。
16	JAPAN: The possibility of MCH HB as a research source	2017年 4月	日本	【運用】日本では、母子手帳は長期間大切にされている ため、研究の貴重な情報源ともなっている	日本では母子手帳は70年以上使われており、両親、保健医療従事者、 地方政府の三者をつなぐ役割を担っている。さらに調査研究の情報源 ともなっている。例えば予防接種履歴の記録を母子手帳上で確認でき れば、記憶違いによる情報バイアスを防ぐことができる。調査した大学 生の83%は、母子手帳の記録のコピーを提出した。日本では、対象期 間(6歳まで)が終了しても、予防接種履歴の記録として活用され、子育 ての記録や思い出として保管されることも多い。今後、母子手帳の情報

				と、学校や職場での定期健診の情報がつなげることも検討される必要 があるだろう。
17	INDONESIA: Antenatal group learning and the role of MCH Handbook	2017年 3月	【運用】母子手帳を活用した母親学級の出席者には望ま しい保健行動がみられた	インドネシアの西ヌサ・トゥンガラ州では、技能者による介助出産が増加した(2003年62%、2008年80%)。この間に実施された母子手帳を活用した母親学級の効果とそのメカニズム理解のため調査した。参加者には、鉄剤の服用や完全母乳育児の実施の割合が高く、迷信に基づくケアの実践は少なかった。また、参加者の9割が母子手帳を読んでいた。妊婦は他の妊婦とのネットワークを構築でき、助産師との信頼関係を醸成し、コミュニティのリーダーや夫の支援も受けやすくなることが示唆された。これらから、母親学級が国家プログラムに位置付けられた。
18	CAMBODIA: Comparative advantage of MCH Handbook over card-type records in mothers' behaviors and knowledge	コンボンア	【効果】母子の記録が統合された母子手帳が妊産婦の保 健知識や受診の向上に貢献	カンボジアのコンポンチャム州において、母子手帳と母子それぞれの家 庭用記録とで、利用者の知識の向上や行動変容等を比較。母子手帳の 利用者では産前健診を 4 回受診する割合や医療従事者の介助による
19	LAO PDR: Introduction of a user's guide of MCH Handbook	2017年 7月 ラオス	【運用】母子手帳ガイドと研修により保健医療従事者の リスクの特定や妊産婦とのコミュニケーションなどが向 上	母子手帳の活用のために、ラオスでは、保健医療従事者向けの母子手帳ガイドを作成した。ガイドを用いた研修を 3 県で行い効果を調査。研修の受講者は、保健医療従事者らは初回の産前健診でハイリスク妊婦を特定できるようになり、出産時のデータから搬送の是非を判断できるようになった。また、これらの対応について妊産婦に説明して継続的にフォローし、家庭でのケアについて妊産婦に指導するなど、コミュニケーション能力も向上した。これらから、母子手帳を効果的に活用するためには、ガイドを用いた研修や継続した指導支援の重要性が示唆された。
20	JORDAN: UNRWA's electric MCH Handbook application for Palestine Refugees	2017年 8月 ヨルダン	【運用】母子手帳電子アプリの導入には、高い携帯電話などの所持率と医療情報の電子化に加え、アプリの周知・使いやすさ・スタッフの研修・社会背景との調整が不可欠	ヨルダン内のパレスチナ難民において母子継続ケアに活用されている母子手帳。高い携帯電話などの所持率や医療情報の電子化の進展を背景に、モバイル保健情報サービス(mHealth)の一環として、リマインダー機能や教材・情報交換ツールとして電子アプリを開発。妊産婦への周知の不足、アプリの操作法の習得困難さや指導不足、紙をより好む層の存在などの理由で、調査した保健センター利用者での使用は限られた。技術やデバイスの普及状況を考慮しつつ、ユーザー層への戦略的な宣伝と利点の周知、操作性の向上や保健医療従事者への研修などにより、さらなる発展が期待される。

21	JAPAN: Updating MCH Handbook in accordance with evolving key MCH agenda 2017年9月	日本	【運用】日本の母子健康手帳は更新や改訂を重ね、効果 的かつ実践的なツールとして活用され続けている	日本で 70 年以上活用されてきた母子健康手帳は、基本的な概念を保持しつつ、その時々の保健課題やエビデンスにあわせて改訂されてきた。改訂にあたり母子健康手帳改訂委員会が組織され、様々な関係者がかかわり、概ね 10 年に 1 度行われている。母子手帳は、国で定める部分と市区町村が独自に定められる部分とで構成され、市区町村によって発行・交付される。母子の健やかな生活と成長を守るという目的の下、保健医療従事者・行政・母子の三者が効果的で実践的なツールとして全国的に広く認知され、時代に合わせて受け継がれている。
22	SENEGAL: MCH Handbook enabling maternal and child health, and beyond 2017年 10月	セネガル	【運用】保健医療従事者・妊産婦双方は母子手帳に満足 しており、健康記録は記録され、家庭では大切に保管さ れている	セネガルで導入された、思春期まで使える母子手帳の運用状況を評価。 ダカールを含む 5 州の保健施設医療従事者と妊婦への調査の結果、保 健施設ではストックアウトなく入手でき、適切に記録され、家庭ではよい 状態で保管されていた。さらに、保健医療従事者と妊産婦の双方が、記 載事項、デザイン、及び利用方法に満足していた。この状況を維持する あるいはよりよくするために得られた提案は、出生証明の番号の記載欄 の追加や、モニタリングを通じた保健医療従事者による記録の徹底や妊 産婦とのコミュニケーションの促進などである。
23	MONGOLIA: MCH Handbook as an 'Entry point' for home-based 2017年 developmental monitoring of 11月 children	モンゴル	【運用】母子手帳が発達の遅れの発見・介入の入り口と して活用されている	モンゴルのバヤンゴル地区で、子どもの発達障害の発見・介入への母子 手帳の活用について調査。保健医療従事者は、母子手帳の項目に基づ きより詳しい検査や介入を行っており、母子手帳を活用して予防接種の 重要性を説明していた。保護者も、子どもの発達の確認と予防接種の予 定把握に母子手帳が役立つと認識し、発達状況などを記載する欄に記 録していた。対象地域では、2017年から18か月(1歳半)健診が行わ れている。保護者が母子手帳に記載する成長記録は保健医療従事者に 子供の発達状況を共有する有効な手段となっている。
24	INDIA: Utilization of the Mother and Child Protection Card 12月	インド	【運用】産前記録だけでなく、産後記録を確実にするには、保健医療スタッフへのトレーニングと母親への教育の機会の提供が必要	インドの家庭用保健記録(母子を守るカード MCPC)は継続ケア推進を目的に 2010 年から使われている。2016 年西ベンガル州のバンスプール村で行われた乳幼児の母親を対象とした調査では、74 名の母親のうち 91.9%が MCPC を持っていた。家族の情報・前回の妊娠出産や産前の記録(妊娠登録・産前ケア・妊娠中の検査結果)は適切に記入されていたが、産後の記録(次回の予防接種の予定や成長記録)の記載はほとんどなく、適切に活用されていない。効果的に活用するためには保健医療スタッフへのトレーニングと母親への教育の機会の提供が必要である。
25	INDONESIA: Effectiveness of adequate use of MCH handbook in practicing continuum of MCNH care 2018年3月	インドネシア	【効果】母子手帳の活用が、母子継続ケアの効果的な実践に貢献	インドネシアの西ジャワ州の農村部において、母子手帳の活用の効果を 調査。初回産前健診で母子手帳を配布し、健診や、健康教育に活用した 場合、妊産婦やその家族が母子手帳に目を通し、保健医療サービスを受 ける際に母子手帳を持参する割合が高かった。妊娠期の破傷風の予防

26	GHANA: Testing comparative advantages of a new combined MCH Record Book to the existing separate record books	ガーナ	【効果】既存のカードに比べ母子手帳は、母子継続ケア の完了率や妊産婦の知識の向上に貢献	接種や6回以上の産前健診、子どものビタミンA投与、保健医療従事者による出産介助などを受ける割合も高かった。さらに、家庭での適切なケアや夫の協力もみられた。これらから、母子手帳を活用することで、家族を巻き込みつつ、継続性のある母子保健サービスが提供・利用されることが確認された。 ガーナの3州を対象とした調査。既存のカード類と比較して、母子手帳の利点を明らかにした。母子手帳を導入した場合、継続ケア完了率(産前健診4回以上/保健医療従事者の介助による出産/産後ケア48時間後・2週間後・6週間後)が上昇し、母子保健の知識(妊娠期間や乳幼児期の危険な兆候、出産のために準備するもの)が向上した。また、保健医療従事者は、母子別々の記録よりも母子手帳のほうが、サービスを効果的に提供できると認識していた。母子手帳は継続ケア(知識とサービス利用)を促進し、妊産婦と保健従事者に受け入れられたといえる。
27	WHO recommendations on home-based records for maternal, newborn and child health	2018年9月世界	【効果】母子の健康改善に向けてHBRの活用をWHOが推奨 【運用】効果的な活用が重要	WHO は科学的根拠に基づき、母子の健康改善に向けてHBRの活用を推奨する指針を発表。推奨内容は、①母子保健において、施設ベースのデータを補完するものとして HBR の活用を推奨、②特定の様式の効果が高いとは確認されておらず、政策決定者は関係者と、内容や様式、その活用を議論することである。母子ケアの受診、男性参加、乳幼児の栄養、家庭での母子ケア、子どもの成長・発達、ケアの継続性、保健医療従事者と妊産婦・保護者のコミュニケーションにおいて HBR の効果を評価した。一方で、特に途上国での論文や顕著な効果の報告が少なさを課題とした。活用にあたり、主要な関係者を各段階に巻き込み、保健システムやサービスに組み込むこと、プライバシーや地域の文脈や使いやすさを考慮したデザインと内容、保健医療従事者への研修とモニタリング、コスト的な持続可能性、改訂を含めた計画づくり、HBR を用いた健康教育、悪影響の可能性への配慮が必要であり、また HBR の効果を測る更なる研究が必要。
28	VIETNAM: Cost-savings by terminating parallel implementations of multiple homebased records for maternal and child health	2018年 バトナム	【運用】母子手帳への統合で3.3億円分の機会費用削減。印刷経費相当分(300万円)は他へ回せる経費。	ベトナムでは少なくとも 23 種の HBR が存在するが、その内予防接種手帳・成長曲線・母子手帳は全国で使われており、重複した内容を記載する作業が保健医療従事者の負担。、また経費としても無駄がある。複数の HBR を母子手帳1冊に統合すると、年間約 3 億3千万円分(USD3.01 百万)の機会費用の削減に相当する。うち制作・配布費用の年間約 3 百万円分(USD270 千)は、他の経費に充てられる(保健従事者人件費の11・1%)。母子手帳への統合は予防接種や栄養プログラムにもかかわるので、行政機関内での連携・調整を促進も期待できる。

29	BHUTAN: Development of the electronic MCH register linked to MCH Handbook	2019 年 5月 ブータン	【運用】母子手帳上の登録番号とオンライン追跡システム の活用による母子のサービス利用状況の把握	ブータンの母子手帳には登録番号が付与されており、母親の居住郡、普段利用する保健センター、登録年、妊娠中/流産/出生などの状況が判別できる。施設台帳との併用で、母親が別の施設を受診した場合も、保健医療従事者は母子の受診状況を把握できる。報告漏れなどへの対応のため、2016年に MCH サービスのオンライン追跡システム(DHIS2 にも同期)が導入され、2017年に全国に展開した。保健医療従事者のデータ記録能力などの面で課題があり、2019年から2020年、保健省は保健医療従事者の能力強化を実施する。
30	Capacity-based selection of optimal home-based records	2019年6月全世界	【運用】HBR には、機能に応じて母親と保健医療従事者 それぞれに求められる活用力がある	HBR のユーザー(母親と保健医療従事者)に求める活用力は機能により異なる。第一はデータの記録・保持機能。保健医療従事者HWは健診結果を記載し、母親は家で保管し受診時に持参する必要がある。第二はコミュニケーションメディア機能。母親には、内容を理解し実践に移す力、HWには伝える力が求められる。第三はモニタリング・リファラルツール機能。HWには包括的な臨床判断の知識・技術が、母親には上位施設にも持参し、時に記録する力が求められる。ユーザーの能力に応じ、HBRの活用を戦略的に考える。機能に必要な活用力と実際に隔たりがあれば、研修等補助的な介入も必要。
31	MYANMAR: Maternal and Child Health Handbook as a Potential Plug to the access-quality gap	2019年 9月 ミャンマー	【効果】母子継続ケアの回数および質の改善に、母子手帳の寄与	ミャンマーの農村部と都心部で各 750 人の母親に、①受診(ANC4 回以上、施設での SBA 介助出産、PNC3 回以上)、②ケアの質(ANC 項目 11/14 以上、周産期ケア PPC 全 7 項目、PNC 項目 16/17 以上の実施)、③質を伴う受診を調査。ANC と PPC の受診は約 60%で、質を伴う受診は約 15%(PNC で 3.6%、3 フェーズ全体で 0.1%)と差がある。78.6%(農村部 83.9%、都市部 73.3%)が母子手帳を保有、非保有者に比べ妊娠中と出産時にケアを受け、各フェーズでケアの質が確保されていた。母子手帳は、母子継続ケアの質改善の「懸け橋」になり得る。
32	What are the experiences of women and health workers using home-based records?	2019年 全世界 12月	【効果】HBRがひろく使われると、保健の衡平性向上や機会均等化に資する可能性がある。	母親・保健医療従事者のHBR利用に関するシステマティックレビュー。7書誌データベース(1992年から25年間)の論文7,904中19研究が選択基準に合致。高所得国の母親は簡便で迅速なオンラインHBRを評価するがプライバシーに懸念がある。低所得国の保健医療従事者はHBRのデザイン、教育的内容、簡便性や長期的な価値を評価する。保健医療従事者は全般にHBRを支持するが、保健プログラム間の連携不足で複数HBRsがあり負担。保健医療従事者のニーズにあったデザインと運用、適切な研修が必要。適切な記録は、コミュニケーション、エンパワーメント、母子継続ケア、衡平性向上に資する可能性。

33	Does the use of home-based records improve maternal, newborn and child health outcomes?	一十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	【効果】HBR の活用は母子の健康増進、関係者間のコミュニケーション・女性のエンパワメント・ケアの継続性の向上に一定の影響がある。	HBR の母親、新生児、子どもの健康、女性のエンパワーメント等への影響に関する定量的研究のシステマティックレビュー。HBR は、母親については、産前健診回数の増加、破傷風予防接種の向上、妊娠合併症の特定等に効果が認められた。子どもについては、予防接種の改善、発育不全の減少、認知発達遅延のリスク低下がみられた。一方、妊娠中の禁煙・禁酒行動や、新生児死亡、死産、早期授乳への影響はみられなかった。また、HBR は保健医療従事者のコミュニケーションを改善し女性のエンパワーメントを向上させた。さらに、HBR の標準化と保健医療従事者間の継続的なケアを推進する可能性がある。
34	AFGHANISTAN: MCH Handbook as a tool for promoting Universal Health Coverage	2020年 アフガニスタ 6月 ン	【運用】ユニバーサルヘルスカバレッジ推進のためのツー ルとして母子手帳の実施可能性が確認された。	アフガニスタンでは 2017 年 8 月から母子手帳が施行された。2018 年 3 月から 5 月まで、2県で生後 6 ヶ月未満児の母親(1,943人)を対象に、定量的・定性的分析をし、母子手帳の実施可能性を評価。母親の 88.5%が経済状況や居住地に関わらず母子手帳を受け取り、中でも「最も貧しい」女性の 91.7%が母子手帳を受け取っていた。また、本試行終了半年後も 99.5%の母親が母子手帳を保持していた。さらに、母親と保健医療従事者の両方が母子手帳の使用に肯定的だった。公衆衛生省は 2019 年以降、段階的に母子手帳を全国へ拡大を計画している。本調査結果から、母子手帳が多くの母子の保健サービスの享受に役立つことを期待。
35	ANGOLA: Impact of the MCH Handbook in Angola for improving continuum of care and other MCH indicators: study protocol for a cluster randomised controlled trial	2020年 9月 アンゴラ	【運用】母子手帳の活用が与える母子継続ケアへのイン パクトを評価する研究デザイン	アンゴラにおいて母子手帳を活用した介入研究で、妊娠中から産後・幼児期までのケアに与えるインパクトを推計する。介入内容は、(1)母子手帳の配布、(2)保健医療従事者の研修、(3)コミュニティの啓発と巻き込みの三要素で構成される。対象群では従来の二つの HBRsを使用する、クラスターランダム化比較試験(c-RCT)。母子手帳を活用した介入が与える影響を、(1)母子継続ケアの完了率、(2)家族と保健医療従事者の双方による母子手帳の活用、(3)母子の健康に関する幅広いケア、で評価し、試行中のアンゴラの母子手帳改訂と全国展開戦略の枠組みの基礎とする。
36	BANGLADESH: MCH Handbook enhanced by mobile platform to improve continuum of maternal and neonatal care	2020年 バングラデ 12月 ッシュ	【効果】母子手帳の活用は、継続的な妊産婦及び新生児のケアの向上に寄与、モバイルプラットフォーム(MP)との組み合わせは一層効果的	バングラデシュの2地区の妊婦を対象にした研究プロジェクトで、母子手帳活用の効果を検証。母子手帳介入群(モバイルプラットフォーム:MP有)、母子手帳介入群(MP無)、非介入群、の3群で比較。母子手帳介入群では、母子手帳の配布に加え、隔月の会合を持ち妊婦及びその家族と CHW との双方向コミュニケーションを促進した。加えて MP有群では、携帯電話による情報提供やフォローアップも行った。母子手帳介入群、特に MP有群では、産前産後ケアなど母子保健サービスを適切に受ける割合は、非介入群より多かった。同国の一次医療における母子手帳の活用は、母子への長期的な効果が期待される。

37	Recognition of home-based records as part of health systems: 6th Global Symposium on Health Systems Research	2021年3月	【運用】160ヶ国以上で使用される HBR に課題と可能性があり、更なるエビデンスと各国で政策レベルの議論を通じて保健システムへのより良い統合が必要	国際シンポジウムでケニアとインドネシアの保健省、WHO・UNICEF・JICAが議論し、HBRは保健システムに不可欠と確認した。産後うつの予防や子どもの発達促進など HBRの活用可能性も議論された。一方で、運用の課題(頻繁な在庫切れ、保健医療従事者による不適切な使用、プログラム間の調整不足、時に利用者目線ではない内容など)があり、各国がHBRを政策レベルで議論し、保健システムにより良く統合する必要が強調された。さらに、対象の5歳超への拡大、パンデミック下でのセルフ・家族ケア、セルフモニタリングへの活用、デジタル化、費用対効果や有効性などさらなるエビデンスの必要も議論された。
38	ANGOLA: Use of pregnancy wheel for more accurate expected date of delivery recording on MCH Handbook	2021年 6月	【運用】母子手帳への正確な情報記入と適切なサービス 提供のための妊娠週数早見スケールの活用	アンゴラで 2013 年に開発された母子手帳は、2017 年以降、3 州で保健医療従事者の育成、継続的な M&S を行い、母子継続ケアの促進に活用。研修中に判明した課題は、子宮底長は測定するが、妊娠週数の推定と母子手帳への出産予定日(EDD)の記載が困難な保健医療従事者がいたこと。これら情報は、妊娠週数に応じたケア提供や妊婦教育、出産準備支援には必要なため、妊娠週数早見スケールが開発された。母子手帳と共に妊娠週数早見スケール活用法の研修を行い、直後にM&S を通じて ANC サービス提供の場で指導した。複数関係者から、EDD の推定及び母子手帳への記録の速度と正確性の向上が報告された。
39	JAPAN: MCH Handbook for early identification of neurodevelopmental disorders	2021年 日本	【効果】母子手帳の活用が神経発達障害の早期発見に貢献する可能性がある	日本の母子手帳には、養育者が記録する項目がある。養育者の記載内容と、自閉スペクトラム症(ASD)など神経発達障害(NDDs)の発症が一致するかを調査。5歳児健診後、大学病院でフォローアップ健診を受けた720人を対象に、4領域(運動、コミュニケーション、社会的相互交流、自立)につき、発達障害群と非発達障害群で比較。発達障害群は12ヶ月までに自立以外で、24ヶ月までには全領域で、養育者は発達の遅れを記載。ASD 群に限れば、24ヶ月までにコミュニケーションと社会的相互交流で、36ヶ月までに運動以外で、発達の遅れを記載。ASD など NDDs の早期発見に母子手帳が活用の可能性が示唆された。
40	BHUTAN: Multiple functions of MCH Handbook in Bhutan	2021年 12月 ブータン	【運用】記録管理、健康教育、保健管理情報システムのツ ールとして母子手帳は多様な機能を果たしている	ブータンの母子手帳には多様な機能がある。母子継続ケアの記録管理ツールとして、ANC 時に保健医療従事者はケアを記載し妊婦に説明し渡す。国立病院の ANC 受診者に、母子手帳の内容(7 危険信号ととるべき行動)の知識を調査したところ、手帳を読んだ女性で正答率は高く、健康教育ツールとして機能している。さらに、母子手帳上の記録は、病院で管理する保健情報システムの情報を補完している。三次病院で出産または流産のケアを受けた女性の半数以上にANC記録が確認できたが、保健情報システムの情報は母子保健サービスの改善に使われるため、さらに母子手帳の活用の余地がある。

41	JAPAN: Digitization of MCH Handbook and the socioeconomic disparity in health	2022年 6月	日本	【運用】母子手帳の電子化に好意的な意見は母親の社会 経済的要因と関係する。デジタル格差が健康格差を拡 大する可能性もある。	母子手帳補完機能をもつ電子アプリ利用者を対象に、母子手帳の電子化への選好と紙の母子手帳利用状況を調査。所得や教育レベルが高い、年齢が高い、紙の母子手帳への依存度が低いとき、電子化に肯定的だった。また、社会経済的状況が最も高い集団は最も肯定的で、社会経済的状況が最も低く紙の母子手帳に依存する集団は肯定的でない。社会経済的状況の低さは電子アプリ利用の障壁といえる。母子の支援の推進に電子化は不可欠だが、デジタル格差が健康格差を拡大する可能性もある。様々な背景の母子を考慮し、全員が電子化された母子手帳を利用できるまで紙と電子両方の選択肢を残すなど必要。
----	--	-------------	----	---	---